

トリプルワン(6695)

TPM 上場来最高益更新。2023年の半導体業界の在庫調整期を乗り越え、2024年の飛躍に向けた体制構築を図る

TOKYO PRO Market | EMS・ODM(受託製造サービス) | 業績フォロー

BLOOMBERG 6695 JP | REUTERS 6695.T

- 22/10 通期は、収益認識調整後の売上高が 29.79 億円、営業利益が同 20.8%増、経常利益が同 21.4%増、当期利益が同 15.8%増の増益。
- 22 年 3 月にて第 3 者割当増資を実施。資本金・資本準備金にて総額 3.64 億円の資本増強。
- 国内半導体販売予測は 23 年度の下落のち 24 年の反発の見込み。主要取引先の供給網内での地位・シェア確保と供給力拡大が課題。

What is the news?

12/23 発表の 2022/10 通期は、売上高が前年同期 29.27 億円、営業利益が同 20.8%増の 2.06 億円、経常利益が同 21.4%増の 2.08 億円、当期利益が同 15.08%増の 1.3 億円となった。(売上高については、プロダクツ事業における収益認識手法が総額から純額ベースへ変更されたため、比較値なし。)

セグメント別の売上高は、①電子機器受託製造(EMS)を行うプロダクツ事業が 297 百万円、②LSI と呼ばれる高密度集積回路関連技術の開発設計や検証を手掛けるエンジニアリング事業は 413 百万円(対前年度比 100.8%)、③メカトロニクス設計開発から加工・組み立てまでを一貫して行う③システム事業が 2,102 百万円(対前年比 153%)、その他の売上高が 113 百万円となった。

こうした営業状況を反映し、売掛金、仕掛品、原材料といった営業目的の流動資産が拡大した。当期純利益はプロマーケット上場以来の最高益に達した一方、営業用流動資産の増加により、営業キャッシュフローは前年度の▲44 百万円から▲183 百万円へとマイナス幅が拡大。流動性管理や運転資金確保については、短期借入金増加と第 3 者割当増資(資本金 1.82 億円+資本準備金 1.82 億円：一株 8,300 円)により対処。

How do we view this?

2023/10 通期の会社計画は、売上高が前期比 13.1%増の 33.09 億円、営業利益が同 65.5%増の 3.41 億円、経常利益が同 61.7%増の 3.37 億円、当期利益が同 67.4%増の 2.18 億円となり、増収増益を見込む。発行株数の増加はあったものの、一株 25 円の配当を継続する予定。

同社が属する半導体業界は、ウクライナ戦争長期化やエネルギー価格の高騰、米欧における利上げ継続やインフレ傾向から、消費減速懸念が高まっている。日本半導体製造装置協会が今年 1 月に発表した予測によれば、2023 年における日本の半導体製造装置の販売額は前年比 5.0%減の 3 兆 4,998 億円と減少が予想される一方、2024 年度において前年比 20.0%増の 4 兆 1,997 億円と反発が見込まれており、2021-2024 年での販売高の定率平均成長率(CAGR)は 6.8%を見込む。供給拡大への備えが必要となろう。一方、売上の 8~9 割を占める主要取引先であるレーザーテックが、2023 年 6 月通期にて増収増益を予想していることは好材料である。伸縮的な製品供給へ対応し、同社のサプライヤーとしてのシェア確保ないし拡大が半導体業界の在庫調整期を乗り越えるための鍵となろう。

業績推移

事業年度	2020/10	2021/10	2022/10	2023/10F
売上高(千円)	3,576	3,624,279	2,927	3,309
経常利益(千円)	142	171,790	208	337
当期利益(千円)	93	112,912	130	218
EPS(円)	530.66	640.09	641.37	993.46
PER(倍)	2.83	2.34	2.34	1.51
BPS(円)	2,290.60	2,905.69	4,555.90	-
PBR(倍)	0.65	0.52	0.33	-
配当(円)	25.00	25.00	25.00	25.00
配当利回り(%)	1.67	1.67	1.67	1.67

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)



フィリップ証券
A Member of PhillipCapital

フィリップ証券株式会社

配当予想(円) 25.00 (会社予想)
株価(円) 1,500 2023/2/27(基準値)

会社概要

1995年に前身となる株式会社スタックを設立。国内外メーカーの半導体製品およびコンピューター機器の販売、電子機器受託製造サービス(EMS)、ならびに基板設計とハードウェア・ソフトウェアの開発を開始した。2000年に株式会社トリプルワンへ社名を変更した。

同社は、①半導体・電子部品の提供と部品調達から一貫したEMSを行うプロダクツ事業、②ハードウェア・ソフトウェアの開発設計サービスを派遣または受託開発という形態でクライアントへ提供するエンジニア事業、③メカトロニクスの設計開発から加工・組立・製造を一貫して行うシステム事業を中心に展開している。

また、国内では東京本社の他、横浜事業所や福岡支社を開設し事業を展開している。2016年に一般社団法人日本個人情報管理協会よりJAPICOマーク(個人情報保護認証)を取得した。2017/6/30にTOKYO PRO Marketに上場した。

企業データ



(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

主要株主(2023/1/31)

株主名	(%)
1. 株式会社NFKホールディングス	29.26
2. 吉田隆治	13.02
3. 塩田秀明	9.07
3. 佐川達也	4.99
4. 福島慶多	4.54

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

三角 友幸

tomoyuki.misumi@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: リサーチ部 三角友幸

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。